

チームエントリー選手紹介

Team Entry Players

① 学部・学科 ② 出身高校 ③ 自己記録(10月1日時点)



安藤 圭佑
Keisuke Ando

① コミュニティ福祉学部
スポーツウエルネス学科
② 豊川・愛知
③ 5,000m / 14'13"95
10,000m / 29'13"26

4年



稲塚 大祐
Daisuke Inazuka

① 経営学部
経営学科
② 高岡向陵・富山
③ 5,000m / 13'57"90
10,000m / 28'49"55

4年



櫻井 駿祐
Shunsuke Sakurai

① 異文化コミュニケーション学部
異文化コミュニケーション学科
② 立教新座・埼玉
③ 5,000m / 14'17"00
10,000m / 29'47"96

4年



林 虎大朗
Kotaro Hayashi

① コミュニティ福祉学部
スポーツウエルネス学科
② 大牟田・福岡
③ 5,000m / 13'49"74
10,000m / 28'49"09

4年



山口 史朗
Shiro Yamaguchi

① コミュニティ福祉学部
スポーツウエルネス学科
② 四日市工業・三重
③ 5,000m / 14'08"07
10,000m / 28'52"18

4年



小倉 史也
Fumiya Ogura

① 経営学部
経営学科
② 伊賀白鳳・三重
③ 5,000m / 14'09"27
10,000m / 30'11"88

3年



國安 広人
Hiroto Kuniyasu

① 経営学部
経営学科
② 須磨学園・兵庫
③ 5,000m / 13'59"60
10,000m / 28'53"80

3年



永井 駿
Shun Nagai

① コミュニティ福祉学部
スポーツウエルネス学科
② 九州学院・熊本
③ 5,000m / 14'06"74
10,000m / 28'51"30

3年



馬場 賢人
Kento Baba

① コミュニティ福祉学部
スポーツウエルネス学科
② 大牟田・福岡
③ 5,000m / 13'57"65
10,000m / 28'40"67

3年



吉屋 佑晟
Yusei Yoshiya

① 経営学部
経営学科
② 広島国際学院・広島
③ 5,000m / 13'58"73
10,000m / 30'34"48

3年



伊藤 匠海
Takumi Ito

① 経営学部
経営学科
② 拓殖第一・東京
③ 5,000m / 14'04"29
10,000m / 30'00"42

2年



木島 陸
Riku Kijima

① 経営学部
経営学科
② 相洋・神奈川
③ 5,000m / 14'21"39
10,000m / 30'20"51

2年



高田 遥斗
Haruto Takada

① スポーツウエルネス学部
スポーツウエルネス学科
② 仙台育英・宮城
③ 5,000m / 14'21"78
10,000m / 29'53"53

2年



原田 颯大
Sota Harada

① スポーツウエルネス学部
スポーツウエルネス学科
② 洛南・京都
③ 5,000m / 14'24"42
10,000m / 29'54"64

2年



鈴木 愛音
Manato Suzuki

① 経営学部
経営学科
② 城西大城西・東京
③ 5,000m / 14'07"63
10,000m / 29'49"15

1年



山下 翔吾
Shogo Yamashita

① 観光学部
交流文化学科
② 國學院久我山・東京
③ 5,000m / 13'52"67
10,000m / 30'15"09

1年



立教大学

立教大学

秩父宮賜杯
第56回 全日本大学駅伝対校選手権大会
2024 11/3 日祝

立教大学体育会陸上競技部と秩父宮賜杯全日本大学駅伝対校選手権大会 About

「秩父宮賜杯全日本大学駅伝対校選手権大会」は、シード校8校と全国8地区で行われる選考会を勝ち抜いてきた代表校 で争われます。

本学体育会陸上競技部男子駅伝チームは、全国8地区で行われる地区選考会のうち、「秩父宮賜杯全日本大学駅伝対校 選手権大会関東学生陸上競技連盟推薦校選考会(以下関東地区選考会)」に2021年度から出場しています。

関東地区選考会では、シード校を除いた、選手8名の10,000mの合計タイムで上位20校に出場資格が与えられます。各校 の選手が2名、4組でレースを行い、出場選手8名の合計タイムの上位7校が「秩父宮賜杯全日本大学駅伝対校選手権大会への推薦対象校」となり、本選への出 場権を獲得します。

本学体育会陸上競技部男子駅伝チームは、2021年度に第16位、2022年度に第11位、2023年度に第8位と着実に順位を 上げ、2024年6月23日に行われた関東地区選考会にて総合5位の成績を収め、本選への出場権を獲得しました。これは、本学史上初の快挙となります。

全日本大学駅伝対校選手権大会 とは？

「全日本大学駅伝対校選手権大会(全日本大学駅伝)」は、「出雲全日本大学選抜駅伝競走(出雲駅伝)」、「東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)」とともに学生三大駅伝と呼ばれている伝統ある駅伝大会です。同一シーズンにこれらの3大会で優勝することを「大学駅伝三冠」といい、これまで5校が達成しています。

「全日本大学駅伝対校選手権大会」は、毎年11月第1日曜日に開催され、名古屋・熱田神宮～三重・伊勢神宮までの8区間の合計106.8kmをシード校(8校)や全国8地区の選考会を勝ち抜いてきた代表(17校)、オープン参加の日本学連選抜、東海学連選抜の計27チームが大学日本一をかけて競います。

106.8km



熱田神宮西門前
START
名古屋市熱田区神宮

1区

全区間最短の9.5km。各チームのスピードランナーが集まる区間。

9.5km

2区

1区の次に距離の短い11.1km。過去には幾多のごぼう抜きが生まれてき

11.9km

11.1km

3区

前半最長の11.9km。揖斐長良大橋を渡るなど、橋や立体交差による小刻みなアップダウンが続く。

11.8km

4区

11.8km。前半から後半へ流れを繋ぐ重要な区間であり、アップダウンの連続。適応力が試される。

12.4km

12.8km

5区

後半戦スタートの5区は12.4km。晴天なら気温が上がる時間帯のため、気温の変化にも注意が必要。

伊勢湾

6区

三重県の県庁所在地、津市の繁華街を通過するフラットな道が多い、華やかな12.8km。

7区

7区は、8区間中2番目に長い距離の17.6km。レースも佳境に入り、優勝争い、シード権争いが激しくなる。

17.6km

8区

最終8区は最長区間の19.7km。チームの命運を握るアンカー区間。ゴールを目指し、最後の力を振り絞る選手の姿に注目。

19.7km

伊勢神宮内宮宇治橋前
GOAL
伊勢市宇治館町



立教大学 公式LINE 立教駅伝応援

「立教箱根駅伝2024」事業の公式LINEアカウントでは、監督や選手の情報、陸上競技部男子駅伝チームの競技成績や試合日程などの情報を確認できます。



@rikkyoekiden

「立教箱根駅伝2024」特設Webサイト

「立教箱根駅伝2024」事業の取組み内容を紹介する動画、過去の箱根駅伝出場記録や最新の競技成績、最近のトピック等を確認できます。各業界の第一線で活躍するOB・OGの応援メッセージも必見です。



<https://www.rikkyo.ac.jp/hakone2024/>

陸上競技部男子駅伝チーム公式サイト

現在の男子駅伝チームの選手のこと、分かるブログや競技成績、スケジュール、過去に箱根駅伝に出場した先輩たちの実績等を紹介しています。



<https://www.rikkyo-ekiden.jp/>



陸上競技部
男子駅伝監督 **高林 祐介**

平素より温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。この度、厳しい選考会を突破し、立教大学史上初の全日本大学駅伝への出場権を獲得することができました。初出場ということで失うものは何みありません。シード権の8位入賞を目指し、果敢にチャレンジいたします。選手たちの熱い走りに、皆様の力強いご声援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



陸上競技部
男子駅伝主将 **安藤 圭佑**

平素より多大なるご支援ご声援、誠にありがとうございます。全日本大学駅伝の出場は、今年が初めてです。私たちは、ずっとこの舞台に立つことを目標に過ごしてきました。そしてついに、その目標を叶える時が来ました。初出場なので分からない事も多く、戸惑う事もありますが、逆に初めてだからこそ、強気で果敢に勝負を挑むこともできます。名だたる強豪校たちに負けない走りをして、皆様に良い結果を報告できるよう頑張りたいと思っていますので、当日は応援のほどよろしくお願いいたします。

2024 11/3 日 祝

START

8:10

熱田神宮西門前

GOAL

13:20 頃

伊勢神宮内宮宇治橋前

■ 応援注意事項

- 事前に申請をした大学応援団以外、集団応援や鳴り物を使用しての応援を禁ずる。
- 安全のため石垣や縁石等の上には上らず、応援は必ず歩道上で行うこと。歩道から手や体の一部を乗り出したり、のぼり等をコースへせり出したりの応援を禁ずる。
- 車両(自動車・自動二輪車・自転車等)を使用しての応援および伴走と見られる応援を禁ずる。そのような行為をした場合は、審判長の裁定で出場チームを失格とすることがある。
- 横断幕、のぼり、旗等をガードレールや橋など沿道公共物にくくりつけることは道路交通法違反であるため、一切を禁ずる。
- スタート地点前後30mでの大学名の入った横断幕、のぼり、旗等の掲出を禁ずる。
- ゴール地点と各中継点付近、中継所付近の応援エリア、店舗の前では大学名の入った横断幕、のぼり、小旗等の掲出を禁ずる。協賛団体の掲示物はこの限りではない。
- 大学名の入った小旗・パンフレット等を一般の観客に配布することを禁ずる。
- その他、荷物の積み降ろし等は、役員・警備員の指示に必ず従うこと。

立教箱根駅伝2024

創立150周年記念事業

2018年11月に、創立150周年に向けた記念事業として、2024年1月の第100回東京箱根間往復大学駅伝競走(以下、箱根駅伝)本選出場を目指す「立教箱根駅伝2024」事業を開始しました。本学体育会陸上競技部は、箱根駅伝が始まった1920年に創部。箱根駅伝での最高順位は、第33回大会(1957年)での総合3位という伝統校ですが、第44回大会(1968年)を最後に出場が途絶えていました。事業開始後、着実に力をつけ、第99回箱根駅伝(2023年)に55年ぶりに出場し、総合18位という成績を収めました。また、2年連続の本選出場となった第100回箱根駅伝(2024年)では、総合14位となり、第99回大会から4ランクアップの躍進を遂げました。そして、2024年10月19日に行われた第101回箱根駅伝予選会において1位となり、3年連続30回目の箱根駅伝出場が決定しました。